



【第Ⅱ群】

専門共通科目 └ a) 共通基礎科目
 b) 専門基礎科目

【第Ⅲ群】

専門科目 ————— 専門科目

■工学部総合の教育理念

工学部総合では、工学の基礎を1年前期に学ぶとともに、工学部三学科「機械工学科」、「機械システム工学科」、「電気電子工学科」の導入科目、例えば電気電子基礎実習、機械工学基礎演習I、機械システム基礎演習や機械実習などを幅広く学ぶことを特徴としている。これらの学習を通して自らの興味を見出し、1年の後期から自分の適性に合わせた学科を選択することができる。各学科へ配属された後は、機械工学、機械システム工学、もしくは電気電子工学の専門的な内容を深く学び、それぞれの専門性を身に付けるとともに、機械、機械システムおよび電気電子の幅広い基礎を有する実践的な技術者や研究者になることを目標に、専門性の高い教育を選択できる。各学科で学ぶ専門的な知識は、卒論や大学院で研究活動を行うときに大いに必要となるだけでなく、将来、技術者や研究者になるために必要な知識となる。

■カリキュラムの構成

工学部総合は、1年前期に工学部三学科（機械工学科、機械システム工学科、電気電子工学科）の工学の基礎科目を一通り学べるようにカリキュラムが構成されており、各学科の学生とは異なり、工学部の機械、機械システムおよび電気電子の基礎を全て学ぶことができる特徴のあるカリキュラムといえる。1年前期の講義や基礎実習を受講しながら適性を考え、1年後期から適性にあった学科に所属することになる。このためカリキュラムに沿ってなるべく幅広く受講することが望ましい。工学部三学科は、いずれも工学技術の根幹となる大変重要な学科であり、学科の選択時には1年後期から所属する学科を慎重に考えることが必要といえる。

■学年進行の概要

工学部総合の学生は、1年前期に工学部三学科の専門的な基礎を学んだ後、1年後期から適性の合った学科に配属されることになる。1年後期の学科の配属が行われる前に各学科の研究室見学や個別面談（学科説明会の場合もある。）を行い、学科選択の際のアドバイスを行う。

